

阿井地区 小学校再編 保護者勉強会

令和3年10月7日

はじめに

- ・小学校再編に関わるこれまでの経緯
- ・阿井地区のこれまでの活動と
保護者分科会について

・小学校再編に関わるこれまでの経緯

- 2007年 奥出雲町学校再編基本計画検討委員会に諮問
2009年 この答申を受け、教育委員会から小学校再編の必要性を奥出雲町長に対して報告
2019年 それから約10年が経過し、町教育委員会より改めて小学校再編方針が公表された
⇒ 再編後の学校については3年後の2022年の開校を予定

しかし、新小学校の建設予定地が土砂災害警戒区域に指定されることとなり、小学校再編への協議は再び中断することとなった。

2020年 このことを受け、町教育委員会が小学校再編方針を修正。

⇒ 当初は令和2年3月から再編に向けての協議が開始される予定であったが、新型コロナウイルスの影響により協議が中断されることとなり、令和3年3月から協議が再開され現在に至っている。

・阿井地区のこれまでの活動と 保護者代表分科会



1. これまでの保護者代表分科会での協議

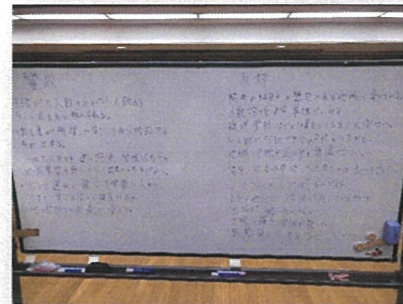
再編統合によるメリット・デメリット【ブレインストーミング】

- 統合した場合、UIターン減が気になる。
(⇒人が減り、地域が衰退することへの危機感)
- 保護者委員は、「子供は少ないより多い方が良い」という
共通認識持っている。



統合への賛否について議論【ディスカッション】

- 「仮に統合小学校が近くにあった場合」を想定すると
否定する意見が出てこない
⇒ 統合の考え方自体を否定するものではなく、それによる
効果などある程度理解している。



☞何が引っ掛かるのか...

阿井地区に小学校が無くなること

☞何故引っ掛かるのか...

- ①阿井地区が廃れてしまうという不安
- ②阿井の歴史文化を子供に学ばせたい
- ③様々な犠牲を払ってまで敢えて地区外に通わせるメリットが無い
⇒統合小学校案にそれほど魅力を感じられない



阿井小学校を残すとしても...

将来的に持続可能性があるのか検討が必要

検討するに当たって気をつけたこと

◎統合小学校との比較は持続可能な阿井小学校と比較する

【現在】 地域と密接につながりながら教育・学校運営が行われている



【10年後】 今の関係性を維持できるのか？



統合小学校



教育魅力課提示案は現時点具体性に乏しくはつきりしない

以上を踏まえ、保護者代表分科会では情報収集や検証を行った

⇒ 新小学校に統合した場合と阿井小学校が存続した場合において予想される事柄について様々な視点から検証

① 阿井小学校の教育環境の持続可能性や、教育委員会からの提案内容を阿井地区に当てはめて具体化する

⇒ 教員数や教育の質の確保はできるのか、新小学校への通学方法に関して生徒の安全は確保されるのか??など

② 「小学校再編＝地域衰退」論が正しいか検証する

⇒ 地域の衰退とは何か、そこに小学校がどう関係するのか??など

③ 保護者や先生、関係者等の意見を聞く

⇒ 学習環境においては、子供は少ないより多い方が良いのか、複式学級になることにより教育の質はどうなるのか??など

今後の活動について

- 今回の勉強会は、保護者代表分科会において、町教育委員会から提供された情報について検証したり、必要な情報を収集したものについて保護者の皆様に情報提供するためのもの
- 今後も、町教育委員会より新小学校に関する情報が逐一提供されることが予想される
- 提供される情報の内容によっては、今後、再び勉強会を開催し、情報を提供することもある
- 状況を知っていただいた上で、統合の是非についてのアンケートを保護者の皆様に対して実施する
- アンケートの結果を基に、統合の是非について阿井地区校區別協議会で検討・決定し、町教育委員会へ報告書を提出する